

トピックス **ぶらす**

2/26

J1昇格への道のりを語る

平成21年度の市スポーツ講演会が2月26日、元サッカー日本代表でベガルタ仙台アンバサダー（親善大使）の岩本輝雄さんを講師に招き中田農村環境改善センターで開催されました。岩本さんは「ベガルタ仙台の昇格への道」をテーマに、清水監督との出会いや選手の特徴などエピソードを交えながら講演し、参加者は熱心に聞き入っていました。



▲過去の勝敗要因や今後の動向について語る岩本さん

3/8

暴力団員排除に一層の連携を

公の施設や指定管理者などの使用や契約から、暴力団関係者を排除する協定が市、市教育委員会、佐沼・登米両警察署の間で終結され、調印式が2月8日市役所迫庁舎で行われました。調印式で佐沼警察署の齋藤署長は「協定書の調印を契機に、さらに市と連携・情報共有をして、暴力団の排除や取り締まりを強化していきたい」と話していました。



▲市民の安全・安心のため一層の協力体制を誓いました

3/9

官民が協力し地元の美観を守る

「ゴミのないきれいな町にしよう」を合言葉に、国交省の職員や地元住民などによる清掃作業が3月9日、国道45号線柳津入土地区待避所周辺で行われました。待避所は北上川沿いであって多くのドライバーが立ち寄る場所。清掃作業には約40人が参加し、約1時間の作業で空き缶やペットボトルなど2t車で3台分ものゴミを回収しました。



▲多くの人の協力により多量のごみが回収されました

3/14

ホワイトデーにふれあい交流ツアー

相手に「自分の想い」を伝える能力を高め、地域・職域を越えた交流の場を提供する「出逢い・ふれあい講演会&交流ツアー」が3月14日開催されました。ツアーには市内外から男女23人が参加し、市長やみやぎ青年交流推進センターの相談員による講演の後、仙台市秋保の慈眼寺での祈祷体験や散策などを行い楽しいひとときを過ごしました。



▲相談員による交流ゲームを楽しむ参加者の皆さん

住 石越で市議会議員と区長との懇談会開催
みやすい地区を目指して

住みやすい、暮らしやすい石越地区を目指すため「登米市議会議員と地区区長の懇談会」が3月10日、石越総合支所において行われ、石越地区出身の市議会議員と行政区長や関係者27人が参加しました。この取り組みは区長互助会からの提案で合併後初めて行われたものです。懇談会では、議員より議会報告が行われた後、意見交換が実施され、区長の皆さんからは防犯や衛生など、身近な問題についての意見が多く出されるなど、今後のより良い石越地区について活発な意見が交わされました。



▲石越地区が抱えている問題や、その解決策について話し合いました

新 迫で手作りお守りのプレゼント
入生の交通安全を願う

平成22年度に迫町内の4つの小学校（森・佐沼・北方・新田）と迫支援学校に入学する新1年生の交通安全と健康を願い3月2日、「迫児童館はくちょうクラブ」から手作りのカエルのお守り「ぶじかえる」が各校に贈られました。この事業は、クラブ会員の皆さんが1年間かけて作成したお守りを新1年生へ贈るもので、今回で15年目を迎えます。お守りは神主さんの祈祷を受けた後、クラブの皆さんが各校へ贈呈しました。このお守りは迫地区内の小学校や支援施設の入学式で新1年生全員に配付されます。



▲佐沼小の片倉校長（左）へ、願いを込めたお守りを渡す阿部会長

学 津山横山小で火伏せの獅子舞引継式
年を超えて伝統芸能を継承

津山町横山地区に伝わる伝統芸能「火伏せの獅子舞」その引継式が2月20日、横山小学校で行われました。横山小学校の児童は、獅子舞保存会の指導を受け、校内での披露のほか、地域のさまざまな行事に参加して、伝統芸能である「火伏せの獅子舞」を伝承しています。卒業する6年生からは「火伏せの獅子舞を引継いで今後も守って行って欲しい」と励ましの言葉が送られました。式の最後に、1年生から5年生による獅子舞が披露され、その力強い演技に盛んに拍手が送られました。



▲6年生のしている前で、伝統芸能の「火伏せの獅子舞」を演じる児童